

ノーコードでの中小企業DXを実現。メンター企業の育成を通じ地域の中小企業間でDX教育をし合うエコシステムの構築。AIを用いたより高度な実装も実現

採択事業者名 株式会社セラピア
 コンソーシアム構成員 えひめ東予産業創造センター | 株式会社ユタカ (AI実装) | 登尾鉄工株式会社 (DXメンター企業) | 株式会社IGSA (AI技術提供)

勉強会の実施概要			
コンソ内部のみ		含む外部	
実施回数の累計	4 (実装検討mtgを4回)	実施回数の累計	2 (成果発表会、新居浜DXLabフォーラム)
参加人数のユニーク累計	6名(参画5社から1名+東予産業創造センター1名)	参加人数のユニーク累計	100名

代表的な実施事例	
狙いとゴール	ものづくり中小企業においてどのようにDXを推進し、事業上の成果を出しているのかという点について、事例共有を行うことで、愛媛県内の中小製造業の皆様へDXの可能性を身近に感じていただき、関心を持つきっかけを創ること。
実施の成果	<ul style="list-style-type: none"> 外部勉強会では、宇和島の水産事業者を中心に70名以上が参加。 弊社セミナーの受講を通して、特に2社と次年度の実装に向けて契約締結の協議中。
実施アジェンダ協議内容	<ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心とする東予地区の中小企業:株式会社タステム,他 行政関係者:西条市、新居浜市など デジタル技術関係者:インテック様
参加者の一例	<ul style="list-style-type: none"> 同様の勉強会は年1回以上実施。 エリアの拡大(東予→県内全域)、及び、業種の拡大(ものづくり製造業→他業種)を通じてターゲットとなる実装先の拡大を図る



登尾鉄工様が指導した企業によるアプリ成果発表会



ものづくりDXフォーラム

データ活用・協議の具体例

重要指標例	以下の2つを本実装事業の重要指標と位置付けている。 1:現場の従業員が作成したプロダクトによる業務改善効果 2:技術を習得した企業が、DX教育を提供した地域の企業数
登尾鉄工株式会社の現場従業員が自ら考えて作成したプロダクトがもたらした成果を県内の製造業の方々に共有実装前。共有されたアプリの一部は以下(実装後)。	

機械の使い方マニュアルアプリ

【アプリ制作前の課題】

- 若手が機械の使い方を覚えるのに時間がかかる。
- 経験者が教えるのにも時間がかかる。

【自作アプリによる成果】

- マニュアルをデジタル化することで紙の削減。
- 事務所から現場まで取りに行かなくてもその場で確認できる。
- 利用方法が簡単のため、社内にデジタル化を広めるための起爆剤に。

【今後の課題】

- さらに技術を身につけて、できることの幅を広げていく。
- 溜まってきたデータ活用にもチャレンジしたい。



シェアリング使用マニュアルアプリ
スマホでQRコードを読み込むことで機械の取り扱い説明を見ることが出来る



写真とか矢印マークがついていてとても分かりやすく、使いやすい

横展開の具体的事例

技術を習得した登尾鉄工の社員が、地域の他の中小企業6社の現場の方にコーチングを行った。

<受講企業>
株式会社コスにじゅういち、SICS (株式会社西条産業情報支援センター) 他、計6社



【これまで】現場に課題があっても自ら解決することが難しかった。
【実装成果】現場の従業員が自らアプリを制作し、身近な課題を解決できるようになった。また、技術を習得した企業が、地域内の他の企業に教育を提供でき、エコシステム構築の兆しが見えてきた。

勉強会実績